

## 会員のトピラ 「とがったニーズ」に応える懐の深さ

### 株式会社ノボル電機

代表取締役社長 猪奥元基氏



緊急事態や災害など、過酷な現場で高い信頼性が求められるメガホン。従来品は重量が難点でした。そこで、拡声音響装置の専門メーカー(株)ノボル電機は、500mlのペットボトルより軽い「かる～いホン」を開発。品質確保に努めながら数え切れないほどの試作を繰り返して軽量化に成功し、防水・防塵性能保護等級はIP66の最高水準を維持。第31回「中小企業優秀新技術・新製品賞」優良賞を受賞、2018年度「大阪府中小企業新商品購入商品」にも認定されました。この度、新商品を開発されたということでお話を伺いました。

1945年創業の(株)ノボル電機は、昨年11月に交野市から枚方市へ本社工場を移転しました。その際にノボル電機製作所からノボル電機に社名を変更。「どうせなら全部一緒に変えてしまおう」と、拡声装置のノボル電機ブランドを育ててきた父・年記会長は、入社10年目37歳の長男元基氏へ3代目を引き継ぎました。猪奥社長は大学卒業のち陸上自衛隊に5年間勤務の経歴を持ち、メガホンの活躍する現場についての見識も深そうです。



新社屋での月生産能力は前本社工場比で50%増の9,000個

#### ～安心される専門メーカー～

同社は消防や警備用のメガホン、船舶のスピーカー、身近なところでは清掃車のオルゴールに特化したものなどに高いシェアを誇ります。中でも大型船になると一隻一隻の設計は全て異なり、拡声音響装置のバリエーションも実に1,000通りを超えるラインナップに。「ニッチな市場をさらに細分化し、お客様の細かなニーズに合わせた仕様、いわゆるどんなに『とがった製品』にも応えられるのがわが社の強みです」と自信を見せます。

2017年には小型最軽量拡声器「かる～いホン」を発売しました。時代の新たなニーズを取り込む製品で、女性や高齢者でも使いやすく、長時間の使用でも腕が疲れにくい。警察や学校、企業の顧客も開拓しています。

#### ～世の中に“無いと困る” 会社でありたい～

同社が次に開発したのは、増加する外国人に向けて平常時は案内放送を、非常時には防災放送が可能な「『外国語』しゃべ～るホン」。外国語コンテンツの専



『外国語』しゃべ～るホン

用端末とメガホンを同期させて多言語放送するので、通常のメガホンとしても使用可能です。

アナウンスは日本語・英語・中国語・韓国語で36分野484用語が収録されており、状況に応じた内容を多言語で素早くアナウンスすることができます(他言語の制作も可能)。

「東京オリンピックや大阪万博も決まり、活躍が期待される。人が集まる場所、特に非常時のアナウンスは失敗が許されず、外国語の微妙なニュアンスを正しく瞬時に伝えることはとても重要なこと」と力説する猪奥社長です。

「創業者である祖父は『一生勉強』が口ぐせでした。従業員の皆さんに、この会社でもっと働きたいと言ってもらえるよう、これからも世の中のためになる製品を作っていきたい」と目を輝かせました。『関西で長く愛されている優良企業180選(日刊工業新聞社)』にも掲載された同社。信頼にアイデアをプラスし、より高品質な製品を生み出すノボル電機の今後の開発が期待されます。

#### 株式会社ノボル電機

代表取締役社長：猪奥元基

事業所：枚方市茄子作南町229-1

TEL：072(852)5860